

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	言語と文学	
科目基礎情報							
科目番号	0009		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		: 2		
開設学科	専攻科共通 (平成30年度以前入学生)		対象学年		専2		
開設期	前期		週時間数		前期:2		
教科書/教材	高専日本語アビリティⅠ・Ⅱ (阿南高専)						
担当教員	坪井 泰士,錦織 浩文						
到達目標							
1.近代の小説・評論、日本語などの特徴をとらえ、説明できる。 2.理解したことを効果的に伝える方法を考え、社会で活用できるファシリテーションを実践できる。 3.代表的な和歌文学について特徴を理解し、説明できる。 4.小説・評論等について、言葉の時代背景を含めて鑑賞できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	近代の小説・評論、日本語などの特徴をとらえ、適切に説明できる。		近代の小説・評論、日本語などの特徴をとらえ、説明できる。		近代の小説・評論、日本語などの特徴をとらえた説明に欠ける。		
評価項目2	効果的に伝える方法を考え、実践をとおして社会で活用できるファシリテーションを整理できる。		効果的に伝える方法を考え、社会で活用できるファシリテーションを実践できる。		効果的に伝える方法を考え、社会で活用できるファシリテーションを実践することに欠ける。		
評価項目3	代表的な和歌文学について、和歌史における位置を理解し、特徴を説明できる。		代表的な和歌文学について特徴を理解し、説明できる。		代表的な和歌文学についての特徴の理解、説明に欠ける。		
評価項目4	小説・評論等について、言葉の時代的背景や現代との関連性について説明できる。		小説・評論等について、言葉の時代的背景について説明できる。		小説・評論等について、言葉の時代的背景についての説明に欠ける。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本文学の作品と表現を中心的対象として、著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する能力を培う。また、その理解を伝え合う経験を通して、論理的理解とコミュニケーションの能力、主体的表現、合意形成の力を深める。						
授業の進め方・方法							
注意点	日本語総合、日本語の表現を履修していることが望ましい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	万葉集 (讃歌)		讃歌の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		2週	万葉集 (短歌連作)		短歌連作の方法を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		3週	万葉集 (相聞)		相聞の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		4週	万葉集 (挽歌)		挽歌の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		5週	古今集と新古今集		古今集、新古今和歌集の特徴を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		6週	近代短歌		代表的な近代短歌の意味を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		7週	現代短歌		代表的な現代短歌の意味を理解し、実作を通して確かめることができる。		
		8週	近代小説		著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する。		
	2ndQ	9週	近代小説		著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する。		
		10週	近代小説		主題への理解の共有をとおして、論理的理解とコミュニケーションの能力、主体的表現、合意形成の力を深める。		
		11週	ファシリテーション		社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		12週	ファシリテーション		社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		13週	ファシリテーション		社会的テーマについて、情報の収集・整理にもとづき、ファシリテーションできる。		
		14週	ファシリテーション		ファシリテーション手法について、他のコミュニケーションとの相違点をふまえて整理し、説明できる。		
		15週	前期中間試験				
		16週	前期末試験答案返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	合計	
総合評価割合	35	0	35	30	0	100	

基礎的能力	25	0	35	15	0	75
專門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	0	0	15	0	25